【事業名】鳥取・賀露みなとオアシス 夏のイベント

【申請者】鳥取・賀露みなとオアシス

活動場所

鳥取県鳥取市賀露町賀露みなと海水浴場

目的

海水浴場にて親子体験型のイベントを通じた
〇家族の思い出づくり
〇海水浴場の賑わい創出
〇郷土愛の醸成

内容

〇カヌーの体験活動
〇ヒラメの放流・ちりめんモンスターを探せの実施

結果・効果

〇参加者数：48組106名
〇参加者が活動を通じて地元の海の豊かさや
　生物の理解を深めることができた。

港・海辺活動

【事業名】宇治島サニーアイランドクリーン作戦

【申請者】瀬戸内海宇治島クラブ

活動場所

広島県福山市走島町宇治島

目的

無人島である宇治島の自然を守るため、海浜清掃などの環境啓発活動を行い、自然とのふれあいを通じて島の魅力を伝え、青少年の健全育成を行うこと。

内容

〇宇治島北側の砂浜に漂着した海洋ごみの清掃活動
〇清掃後の海水浴や釣りなどを通じた島の魅力の体験活動の実施

結果・効果

〇参加者数：170名
〇宇治島や瀬戸内海の環境美化
〇収集したごみの分類調査を通じた海洋ごみへの問題意識向上

港・海辺活動

【事業名】ワクワクいかだでアサリを育てよう

【申請者】兵庫運河里海づくり実行委員会

活動場所

兵庫県神戸市兵庫区兵庫運河きらきらビーチ

目的

兵庫運河を里海に再生し、地域の共有資産として保全、継承していくこと。

内容

〇兵庫運河の環境とアサリに関する講義
〇兵庫運河に生息するアサリの採取・生育観察
〇アサリを利用した水質浄化効果実験
〇観察したアサリの試食

結果・効果

〇参加者数：17組延べ207名
〇兵庫運河の海の豊かさや海の環境について理解が進んだ。

港・海辺活動

【事業名】曽根干潟生きもの観察会

【申請者】NPO法人自然環境定量評価研究会

活動場所

福岡県北九州市小倉南区曽根新田地先

目的

曽根干潟の自然環境を保護・保全するために、変化する自然環境を定量的かつ継続して調査・研究し、その成果を市民に情報提供することで、地域の環境保全活動や環境教育の質と量を高めること。

内容

〇曾根干潟に生息する貴重種の観察会
〇底質・定量生物調査、マイクロプラスチック調査

結果・効果

〇参加者数：延べ44名
〇体験活動を通じ参加者の干潟への親しみを高め、また曾根干潟に関するデータ収集ができた。

港・海辺活動

【事業名】わくわくする海のことを次につなげるフォーラム

【申請者】よこすか海の市民会議

活動場所

神奈川県横須賀市本町3-27 ベイスクエアよこすか

目的

磯焼けをはじめとする身近な海の環境変化に関心をもってもらい、海の環境について考える機会をもってもらうこと。

内容

海をフィールドにした活動を行っている専門家を招いたフォーラムの開催。

結果・効果

〇参加者数：60名
〇活動を通じ、参加者が海の環境変化を実感してもらうとともに、海の環境を守る大切さを理解してもらうことができた。

港・海辺活動

【事業名】環境イベント「里海博」開催による地域環境教育の実践

【申請者】NPO 法人 たてやま・海辺の鑑定団

活動場所

千葉県館山市長須賀136番地（館山中学校跡地）

目的

〇海辺の自然環境を未来に引き継ぐため、様々な課題や取り組みの共有する。
〇若い世代や、来場者に自然環境再保全のための「学び・活躍・発言の場」を提供する。

内容

海辺の自然環境に関する様々な課題や取り組みを共有し、参加者も発表者もともに未来を考える機会として、シンポジウム「里海博2026」を開催した。

結果・効果

〇参加者数：延べ300名
〇来場者が活動を通じ、地域が持つ課題を「自分事」として捉えることにつながり「地域への愛着心」などを育むことができた。

港・海辺活動

【事業名】海都にいがたフォーラム～民間主導による新しいみなと・うみべづくりに向けたコアネットワーク構築～

【申請者】NPO法人　新潟海洋開発

活動場所

新潟県新潟市中央区万代島５－１（ホテル日航新潟）

目的

持続可能な官民連携プラットフォームを形成し、海洋保全と賑わい創出の両立を実現した新しいみなとまちづくりへの機運を高めること。

内容

魅力的な水際空間形成、水辺活用における官民連携、新しいみなとまちづくりの方向性について具体的な事例、提案の発信及び実現可能性の議論の場として「海都にいがたフォーラム」を開催した。

結果・効果

〇参加者数：65名（オンライン参加含）
〇水辺を起点としたまちづくりを共通テーマに、産官学民が方向性を共有した。また、先進事例の共有により実装イメージを醸成し、「海都にいがた宣言」の発令により官民連携の新たな一歩を踏み出すことができた。

港・海辺活動